

入田小学校  
「学力向上実行プラン」

- 「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善
  - ・書く場面、他者の意見を取り入れ自分の考えを深める場面
  - ・学びを振り返る場面の工夫
  - ・発問の工夫
- 自主学習ノートの工夫による家庭学習の充実

学力向上推進員  
特別支援学級担任  
4年担任

委員 校長  
1年担任  
3年担任  
6年担任  
特別支援学級副担任

教頭 特別支援学級担任  
2年担任  
5年担任  
特別支援学級担任  
養護教諭

校長

大平 和哉

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○漢字の読み書き、四則計算等の基礎的な力は概ね定着している。 ●個人差が大きく、基礎的事項が十分身につけていない児童もいる。 ●文章を正確に読み取る力や書く力が弱い。	・基礎的・基本的な知識・技能を身につけ様々な学習場面で活かすことができる。 ・幅広い知識を自ら求める態度をもっている。	・朝のスタディタイムを有効に活用し、計算、算数の応用問題や文章問題、漢字、読解、作文等の力をつけるための学習に継続して取り組ませる。 ・日記指導、朝活の作文で話題設定をする。また、例文を示し、その分につなげる練習をする。 ・デジタル教材を活用し、基礎的・基本的な知識・技能が定着させる。			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○友達の意見をしっかりと聞くことができる児童が多い。また、自分の考えを積極的に発表できる児童が増えている。 ●場に応じて臨機応変に自分の考えを表現する力はまだ十分でない。 ●いくつかの資料から情報を選択し、筋道を立てて文章で表現したり、解決したりすることに課題がある。	・自分の考えを、根拠や理由を明らかにしながら表現することができる。 ・他者の意見を取り入れながら根拠のもとに自分の考えを深めることができる。 ・資料をもとに根拠を明らかにし、文章表現したり、資料から情報をもとに意見を述べたり文章で表現したりする。 ・考えを深めたことを発表・掲示するなど、発信する。	・ホワイトボードや付箋、ノート、タブレット等を用いて、自分の思いや考えを書く場面を増やす。 ・他者と話し合った後、自分の考えを深める時間を設定する。 ・深い学びにつなげるための発問を工夫する。 ・振り返りの時間を確保し、視点を提示して感想を共有する活動を積極的に取り入れる。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○与えられた課題に、まじめに取り組むことができる。また、家庭学習にも主体的に取り組むことができる。 ●自ら課題を見つけ主体的に取り組んだり、不得意な学習内容に対して、自分で計画的に取り組んだりすることに課題がある。	・決められた学習や自主学習に主体的に取り組むことができる。 ・自分の学習の状況をしっかりと振り返り、自らの課題の解決に生かすことができる。 ・既習の学習を生かし、他教科の学習や生活を関連づけることができる。	・「とくしま授業技術の基礎基本」にある、ノート指導を徹底するとともに、ノートには市に自分の考えや気になること、先生の話で聞いたことなどを書く欄を設ける。 ・自主学習のコーナーを設け、自主学習の題材を具体的に示したり、優れたノートを紹介したりする。 ・各教科の関連事項を積極的に活用する。			

令和4年度 学力向上ロードマップ

